

ワクモとトリサシダニの薬剤感受性

村野多可子

Susceptibility of Red Mites (*Dermanyssus gallinae*) and Northern Fowl Mites (*Ornithonyssus Sylvialum*) to Acaricides in Japan

Takako Murano

要 旨

カーバメート系殺ダニ剤カリバリル、ブチル・フェニル・メチル・カーバメイト (BPMC)、プロボクスル、ピレスロイド系殺虫剤フルメトリン、有機リン系殺虫剤フェニトロチオンのそれぞれ工業用原体 5 剤を用い、ワクモ、トリサシダニに対する感受性試験を実験室内で実施した。ついで、市販のカーバメート系殺虫剤カリバリル75%製剤、BPMC20%製剤、プロボクスル50%製剤、ピレスロイド系殺虫剤フルメトリン1%製剤を鶏体に処理し、トリサシダニに対する感受性を検討した。

実験室内試験の結果、ワクモに対してカリバリルは野外で使用される濃度で100%の致死効果が認められたが、他の薬剤では野外で使用している濃度では効果は認めがたく、フルメトリン、フェニトロチオンでは全く効果が認められなかった。トリサシダニに対しては、カーバメート系 3 剤は効果が認められたが、フェニトロチオンでは効果は認めがたく、フルメトリンでは無効果であった。

トリサシダニの野外試験の結果、カリバリルは使用濃度、BPMC、プロボクスルは使用濃度の最高値でのみ完全駆除が認められたが、フルメトリンは無投与対照群の寄生指数とほぼ同様の値で推移した。

以上の成績からワクモ、トリサシダニに対する市販殺虫剤の感受性が大幅に低下していることが示唆された。

(鶏病研究会報、第39巻、190-194、2003)